

69. ブスルフェクス1回投与法への変更による精神症状への影響

研究の概要

同種造血幹細胞移植の前処置には化学療法、放射線照射が併用されますが、静注ブスルファンはその中心的な薬剤です。従来は1日4回、各2時間の点滴静注が必要でしたが、2018年7月より1日1回の投与が承認され、患者、医療スタッフの負担軽減に寄与しています。1回投与への変更に伴う副作用の発現率等への比較調査を行うものです。

研究の目的と方法

2016年1月から2019年6月までの間に当院で4日間のブスルフェクス投与後に同種造血幹細胞移植を行った患者様に関して、カルテデータを用いて4回投与法と1回投与法による精神症状（幻覚、幻視、幻聴、薬剤介入を要する不安）の発現率、肝障害（血清総ビリルビン、AST、ALT、ALPの上昇）の出現率、全生存率、治療関連死亡率を比較します。

本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：当院倫理委員会承認日～2020年4月30日（調査対象期間：2016年1月1日～2019年6月30日）

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

薬剤部 眞弓健介

当院における研究責任者

薬剤部 眞弓健介

問い合わせ先

薬剤部 眞弓健介

TEL: 096-353-6501